

中本賢さん⑤の歌に合わせて、舞踊を披露する舞川扇彩さん＝川崎区で



川崎市川崎区伊勢町の日本舞踊の家元舞川扇彩さん（五三）が、自宅のけいこ場を地域住民に開放して、「さろん・まいかわ」と題したイベントを開いている。日本舞踊やコンサートなどさまざまな内容で、舞川さんは「たくさんの人々に楽しんでもらえる憩いの場になりたい」と話している。

川崎区の家元 舞川扇彩さん

舞川さんが「さろん・まいかわ」を始めたのは、二〇〇四年七月。「多くの人の交流のため、舞踊だけではなくいろいろな発表をやるべき」と考え、なるべく大勢が入れるよう、老朽化していたけいこ場に階段状の座席を設けるなどして改造した。幅広い世代の人が楽しめるよう、日本の伝統的な遊びのコーナーを設けたり、ワインの試飲会を

多くの人の憩いの場に

けいこ場を開放 趣向凝らしイベント

開いたり趣向を凝らしている。

十一日はハーモニカの演奏会や、同市多摩区在住の俳優中本賢さんによる川崎区生まれのナシ「長十郎梨」をテーマにした紙芝居の上演などがあり、約四十人が集まった。舞川さんも中本さんの歌に合わせて舞踊を披露したり、扇を的に当てる「投扇興」と呼ばれる遊びの指導をしたりして、参加者を楽しませている。

「手軽にいろんなイベントが楽しめる場所が身近にあってうれしい」と今回初めて「さろん・まいかわ」に参加した同区の主婦（五十）も。友人に誘われた東京都文京区の会社員立和学さん（三十）は「舞踊だけではなく、いろいろな出し物があるって新鮮だった」と話していた。

次回の「さろん・まいかわ」は三月十九日。落語家の立川志の吉さんの独演会が開かれる。入場料は二千円。前売り千八百円。午後二時開始。問い合わせは舞川さんへ。電話（二一一）八〇一八へ。（鈴木 洋生）